

日本大学工学部ものづくりアドバイザー カタログ

- ・ 氏名 ・ 児玉 大輔（47歳）
- ・ 現職 ・ 日本大学工学部 生命応用化学科 資格 准教授
・ 主な講義科目 化学工学 I, 応用熱力学, 分離工学
- ・ 前職 ・ 株式会社朝日ラバー 工業用ゴム製品の研究開発
- ・ 研究のモットー



・ 国内外の大学や（国研）産業技術総合研究所（産総研）をはじめとする研究機関、企業などとの共同研究を通じ、地球環境にやさしい工学技術の実用化と人材育成を目指しています。

企業等との連携実績および連携関心分野

- ・ 実績（～H28）
 - イオン液体を利用した環境調和型 CO₂ 吸収分離再生プロセスの開発 (H26～29) :
日本学術振興会 (JSPS) 科学研究費補助金 基盤研究 (B) 26289293 採択
 - イオン液体を利用した二酸化炭素物理吸収プロセスの構築 (H23～26) :
日本学術振興会 (JSPS) 最先端・次世代研究開発支援プログラム GR086 採択
 - イオン液体の温室効果ガス吸収特性解明と応用 (H22～23) :
日本学術振興会 (JSPS) 科学研究費補助金 基盤研究 (C) 22560753 採択
 - イオン液体の二酸化炭素吸収特性及び輸送特性の解明 (H22～23) :
科学技術振興機構 (JST) 研究成果最適展開支援プログラム (A-STEP) 探索タイプ 採択
 - イオン液体の二酸化炭素吸収特性の解明と応用展開 (H21～22) :
日揮・実吉奨学会 日揮・実吉奨学会研究助成金 採択
- ・ 関心分野
 - 化学工学：化工物性、移動操作、単位操作
 - 環境技術・環境負荷低減：超臨界 CO₂、イオン液体、再生可能エネルギー
 - 反応工学・プロセスシステム：CCS、プロセスシミュレーション

研究分野：化学工学

- ・ 高圧物性測定装置：気液平衡、pVT、ガス溶解度、密度、粘度、熱量
- ・ 常圧物性測定装置：密度、粘度（転落球式、回転式）

今後力を入りたい分野

- ・ 水素キャリアやヒートポンプなど再生可能エネルギー研究全般
- ・ 企業との連携による温室効果ガス吸収分離再生プロセスの実用化